

科目名	古代文学講読Ⅱ	
担当者	山崎 桂子 / YAMASAKI, Keiko	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	『源氏物語』の桐壺巻を演習形式で読む。千年に亘り読み継がれる日本文学最高峰の魅力の一端を味わう。
	到達目標	1) 原文を声に出して正しく読める。 2) 古語辞書を用いて古語の意味を調べ、現代語訳ができる。 3) 参考文献を用いて各段の内容を理解し、説明できる。 4) 物語世界の大枠をつかむ。
授業計画	(1) 概説 (物語の系譜・作者紫式部について) (2) 〃 (物語の構造)、担当段と日程の調整 (3) 桐壺の概説、登場人物系図と年立、参考文献紹介 (4) 冒頭・いづれの御時にか (演習モデル) (5) 演習 (以下、受講者が順次担当し発表、質疑応答) (6) 〃 (7) 〃 (8) 〃 CD・ビデオ視聴 (9) 〃 (10) 〃 (11) 〃 (12) 〃 長恨歌について (13) 〃 (14) 〃 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・原文を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない言葉・部分をチェックしておくこと。
	事後学習	・演習資料の現代語訳を用いて、内容を再確認すること。 ・疑問点があれば、次回質問できるようにしておくこと。
使用教材・参考文献	【教】森一郎編『大島本源氏物語 桐壺』和泉書院 1991年 【参】新編日本古典文学全集『源氏物語1～6』小学館 1994年 【参】玉上琢弥『源氏物語評釈1～12・別巻1～2』角川書店 1964～1969年	
成績評価方法と基準	<基準> 演習資料の作成、発表、質疑応答が出来、その成果をレポートとして提出すれば合格とする。 <方法> レポート (50%)、演習 (40%)、授業参加度 (10%)	
備考	毎回、古語辞書を持ってくること。	